

平成29年度事務事業評価（外部評価）最終結果表

No.	事業名	事業主管課	根室市外部評価委員会による評価結果						事業主管課による対応結果			
			個別評価（多数決結果）					全体評価	外部評価委員の意見・コメント等	対応結果	今後の対応結果（方針）等	平成30年度予算内容及び対応状況
			不要 (廃止)	民間	委託	要改善	現行 どおり					
1	保健事業経費 (各種検診事業)	市民福祉部 保健課	0	0	0	1	3	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ■まだまだ事業を知らない市民もいるので、引き続き啓発活動を行い、受診率の向上につなげて欲しい。 ■前立腺がん検診（PSA検査）への助成を検討して欲しい。 ■レディース検診の実施や「ねむろポイントカード」の行政ポイント対象事業としたのも受診率向上につながるアイデアだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■受診率向上対策として、引き続き市民に分かりやすい啓発活動を実施したい。また、PSA検査助成については、受診状況や他市の動向等を注視しながら、検討します。 ■今後もレディース検診等市民が受診しやすい環境を整えとともに、市民周知に努め、受診率向上に努めます。 	<p>【平成30年度】保健事業経費（各種検診事業）22,077千円 【平成29年度】保健事業経費（各種検診事業）21,607千円 (比較増減) 470千円増</p> <ul style="list-style-type: none"> ■集団検診（胃・肺・大腸がん検診（年3回）、子宮がん（年1回）、乳がん（年1回））及び個別検診（胃・肺・大腸・子宮・乳）の実施。また、引き続き前立腺がん検診の受診機会を集団検診において図るほか、レディース検診についても好評であることから年2回実施予定。受診率向上につながるよう市民周知及び受診勧奨に努めます。 	
2	高齢者見守り ボランティア事業	市民福祉部 介護福祉課	0	0	0	0	4	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ■ボランティア登録が増加するよう啓発を進め、団体登録の増加に向けて学校や各種団体等に周知が必要。登録団体を公表すると良い。 ■個人ボランティアの増加などにより、空白地帯が無いようにすることが大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ■今後も、新聞折り込み、広報ねむろ、ホームページ等を活用し事業の周知に努めます。登録団体についてはホームページでの公表を検討します。 ■個人ボランティアについては、登録者数100人を目標に今後も継続して募集に努めます。 	<p>【平成30年度】高齢者見守りボランティア事業 560千円 【平成29年度】高齢者見守りボランティア 368千円 (比較増減) 192千円増</p> <ul style="list-style-type: none"> ■見守りボランティア事業助成金の対象団体の拡大（H29当初予算 5団体 → H30当初予算8団体）に向けて、これまでの広報ねむろや市HP活用した周知に加えて、新年度より新たに新聞折り込みによる住民周知を実施する。なお、個人ボランティアについては、100名を目標に継続して募集を呼び掛けます。 	
3	こども発達支援事業	市民福祉部 社会福祉課	0	0	0	3	1	要改善	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園や保育所の現場では、臨床心理士等専門職の派遣を依頼しても、月に1回や2回だと、なかなか予約が取れない。 ■幼稚園や保育所の出来るだけ早い段階で支援が必要かどうか判断することができることにより、早い段階での支援開始につながる。現場が臨時で専門職の対応を依頼しても、現状ではその対応に限界がある。このため、派遣回数増加はもとより、市で専門職の確保、人員配置が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの発達状況に応じた支援については、可能な限り早い段階からの臨床心理士等の専門職との関わりが重要であることなどから、新年度について、臨床心理士の現行派遣体制（年12回）に対し、さらに6回増により、支援を必要とする子どもの発見も併せ支援体制の充実を図ります。 	<p>【平成30年度】子ども発達支援事業 2,679千円 【平成29年度】子ども発達支援事業 2,387千円 (比較増減) 292千円増</p> <ul style="list-style-type: none"> ■新年度予算については、臨床心理士の派遣回数増により予算増額の上実施します。（年間12回→年間18回（6回増）） また、他の専門職については、前年度と同回数の支援量を確保します。（言語聴覚士18回、作業療法士18回、理学療法士12回） 	
4	特別支援教育 推進事業	教育委員会 教育総務課	0	0	0	0	4	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ■「りんくす」は、誕生から保・幼・小・中・高と個人の立派なカルテ。通常学級でも児童・生徒理解に大いに役立つ、価値のある事業である。北海道教育委員会も高校の特別支援教育を推進すると判断した。そうなら「りんくす」もそのまま活用できる。 ■福祉課と教育委員会が連携して支援を必要とする子どもの早期発見に努めて欲しい。教育委員会の専門職の方を幼稚園や保育所に派遣して対応していただけると、就学時検診の前に情報共有できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■乳幼児期からのきめ細かな相談・支援や就学後においても引き続き、教育、保健、福祉等の関係機関との連携を継続し、一貫した教育相談や支援が受けられる体制のもと、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育が受けられる街を目指します。 	<p>【平成30年度】特別支援教育推進事業 4,892千円 【平成29年度】特別支援教育推進事業 3,616千円 (比較増減) 1,276千円増</p> <ul style="list-style-type: none"> ■特別支援教育推進事業においては、新年度においても専門員を確保するほか、関連事業において、特別支援教育支援員を9名から10名へ増員し、特別支援の教育の強化を図る。また、きめ細かな相談・支援を行うため、今後においても、教育、保健、福祉等の関係機関との連携を継続します。 	
5	みらいのアーティスト 応援事業	教育委員会 公民館	0	0	0	2	2	要改善	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年度の補助実績がないことから、啓発に取り組んで欲しい。 ■補助対象利用者の増加に向け、対象要件の見直し、緩和が必要となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■事業の周知につきましては、ホームページや館内掲示等で取り組んでおりますが、改めて市内の音楽教室等を通じ、事業周知に努めて参ります。また、平成28年度において、補助実績が無い現実を踏まえ、補助申請に係る手続きの軽減や、要綱に定める対象要件の見直しや緩和などについて、児童生徒の各種大会への参加実態等を調査・把握し、検討を進めて参ります。 	<p>【平成30年度】みらいのアーティスト応援事業 1,725千円 【平成29年度】みらいのアーティスト応援事業 100千円 (比較増減) 1,625千円増</p> <ul style="list-style-type: none"> ■新年度は、これまでの外部評価等のご意見を踏まえ、「対象となる大会の拡大」「代表権撤廃による対象者の拡大」「交通手段の拡大」「講演会・講習会等の開催や鑑賞・体験機会の提供の新設」「助成金とすることで手続きの簡素化を図る」ため、みらいのアスリート応援事業を所管する社会体育課と調整の上、要綱改正を実施し、事業を実施します。 	

平成29年度事務事業評価（外部評価）最終結果表

No.	事業名	事業主管課	根室市外部評価委員会による評価結果						事業主管課による対応結果					
			個別評価（多数決結果）					全体評価	外部評価委員の意見・コメント等	対応結果	今後の対応結果（方針）等	平成30年度予算内容及び対応状況		
			不要 (廃止)	民間	委託	要改善	現行 どおり							
6	ふるさと根室 市民活動情報発信事業	総合政策部 総合政策室	0	0	1	2	1	要改善	<ul style="list-style-type: none"> ■ まだまだ冊子の存在を知らない市民も多く、掲載団体の掘り起こしにもつながるよう、さらなるPRが必要である。 ■ 配布場所の見直し、掲載内容の充実（団体の行っているイベントや発表会等の活動情報など）が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ PRについては、SNSや広報誌を通じて、存在の周知を行うほか、冊子だけでなく、市民活動の情報について更新や、最新の情報を発信できるような仕組みを検討し実行して参ります。 ■ 配布箇所については、現在、公共施設、市内スーパー、コンビニエンスストアに配置しておりますが、今後、更なる周知が必要であることから、町会回覧等についても検討して参ります。 	<p>【平成30年度】 ふるさと根室市民活動情報発信事業 0千円 【平成29年度】 ふるさと根室市民活動情報発信事業 0千円 (比較増減) —</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市民活動情報誌については、市民へ活用されるよう更なる周知が必要であることから、これまでの公共施設や市内スーパー、コンビニエンスストアでの配置に加えて、新年度は新たに町会回覧による住民周知を実施するほか、配置箇所の見直しなど効果的な情報発信に努めます。 ■ また、現行情報誌については、新年度の配布部数を確保できていることから、新たな情報誌の発刊は先送りするものとし、平成31年度に向けて、市民活動の情報の更新や最新の情報を発信できるような仕組みを引き続き検討して参ります。 			
7	消費者行政推進事業	市民福祉部 市民環境課	0	0	0	3	1	要改善	<ul style="list-style-type: none"> ■ 消費生活問題に係る各種啓発事業について、例えば、成人式において冊子を配布するなら、若者向けの注意点に絞り込むなどポイントを絞った効果的な啓発事業を実施してほしい。 ■ 啓発の配布物は、実際に受けた相談事例などを挙げて、もっと身近に危険が潜んでいるような情報発信ができるようにしたい。定期的な市広報での掲載も有効。 ■ スキルアップ研修の成果を、外部の講習会などで活かして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各種啓発事業においては、啓発の対象者の年齢層等を考慮し、最も適切な啓発を心がける。成人式においては、若年層を対象としたクレジットカードや電子マネーの使用について注意を促すパンフレットを配布する予定。 ■ 情報発信については、市の広報誌「広報ねむろ」に啓発記事を掲載しており、また、市内における詐欺関係等の情報を随時「ねむろメール」で発信し、市民周知を図っているところであるが、さらに、市ホームページに相談事例を交えた記事の追加・更新を行う等、効果的な啓発に努めて参ります。 ■ 消費生活相談員が得た研修成果については、その得た知識等をまとめ、市民に提供する方向で検討して参ります。 	<p>【平成30年度】 消費者行政推進事業 1,906千円 【平成29年度】 消費者行政推進事業 1,788千円 (比較増減) 118千円増</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新年度も引き続きほぼ前年度並みの予算を措置し、事業を実施する。なお、外部評価の意見を踏まえ、消費生活問題に係る各種啓発事業の実施にあたっては、既に改善した点もあるが、市ホームページに相談事例を交えた記事の追加・更新を行う等、効果的な啓発に努めて参ります。 			
8	既設公園整備事業	建設水道部 都市整備課	0	0	0	0	4	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安心して公園で遊べるよう、老朽化する遊具等の更新のため、必要な予算の確保が必要。 ■ 必要な資金を集める方法の工夫も必要である。（例：クラウドファンディング） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今回の外部評価委員会でも満場一致で「現行どおり」の評価結果をいただき、原課といたしましても必要不可欠な事業であることを確信いたしました。公園の維持管理については、都市公園法に基づき、公園管理者である根室市の予算で老朽化する遊具等の更新を推進すべきであると考えております。 ■ 公園施設内の安全性確保・機能保全を図り、「市民の皆さんに安心して利用できる憩いの場」を継続して提供していく。 	<p>【平成30年度】 既設公園整備事業 5,219千円 【平成29年度】 既設公園整備事業 5,116千円 (比較増減) 103千円増</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新年度も継続して、公園施設や健康遊具の更新などを行い、公園施設内の安全性確保・機能保全を図り、「市民の皆さんに安心して利用できる憩いの場」として、都市公園や緑地の環境整備を継続して推進いたします。 ■ また、新年度では、老朽化した遊具の計画的な更新事業を、「子育て環境整備事業」として、ふるさと応援寄付金を活用し、鳴海公園の老朽化した遊具（すべり台、ブランコ）の更新等を行います。子育て世代の方々や、安心して利用できる憩いの場を提供し、子育てしやすい環境の充実に取り組みます。 <p>【平成30年度】 子育て環境整備事業（公園） 3,315千円</p>			
9	市民の森整備事業	水産経済部 農林課	0	0	0	2	2	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民の森の活用方法として、森林浴をしながら運動して、健康づくりの促進につながる優位性などを市民周知（Web等）すると、利用者増加に繋がる。 ■ 市民の森でこんなこともできるというモデルケースを提示できると、利用者増加に繋がる。 ■ 交通の便が悪いので催事の時に交通機関を活用したりすると、車の無い人も参加できる。車が無いと行けないのが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ より一層、四季に応じた情報発信の充実にも努め、利用の促進に繋げて参ります。 ■ 交通機関の不便ではありますが、催事の際には、市民のみならずご協力のもと、自家用車乗り合わせにより交通手段を確保いただいているところであり、引き続き、市民のみならずご協力を賜り、解決を図ります。 	<p>【平成30年度】 市民の森整備事業 2,789千円 【平成29年度】 市民の森整備事業 3,018千円 (比較増減) 229千円減</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市民周知について、現状の市ホームページやフェイスブックなどの情報媒体を活用し、四季に応じた情報発信の充実にも努め、市民の森の利用促進を図る。また、誰もが安心・安全に市民の森を利用できるよう、引き続き、施設内の環境整備について努めます。 			
10	人材確保対策事業	水産経済部 商工観光課	0	1	0	1	2	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材確保するにしてもターゲットを絞り込んだ方がよい。普通の就職活動者を対象とするのでは、都会から根室へ来てもらう実績を上げるのが難しい。Uターン向けに力を入れたやり方の工夫も必要。実施場所の再検討も必要。 ■ 漁協や農協、建設など業界団体でPR活動を行った方がよいのではないかと。雇用促進協議会の構成団体の声かけも含めて、各団体への声かけをしつづけた方がよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市部での就職説明会では、引き続き根室市雇用対策協議会の事業として実施し、対象者や実施場所など、検討します。 ■ 根室市雇用対策協議会の構成団体においても、各産業における関連団体にも参画をお願いする等、広く意見を収集する環境づくりを図ります。 	<p>【平成30年度】 人材確保対策事業 4,756千円 【平成29年度】 人材確保対策事業 7,132千円 (比較増減) 2,376千円減</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新年度予算については、住宅借上げ支援補助金・中小企業人材育成事業補助金においては過去の実績・ニーズ等を踏まえ減額措置としたが、事業の実施・制度の内容については、現行どおりの内容にて実施します。 ■ 根室市雇用対策協議会の構成団体においては、平成30年度の総会において、関連団体への参画を諮り、承認後、業界側からの意見収集を図り、より効果的な事業の構築を図ります。 			
経過概要			<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成29年11月16日～27日 外部評価の公開実施に向けた市民周知（市HP・新聞等・ラジオ） ■ 平成29年11月28日 第1回会議開催（事務事業評価の外部評価を公開実施） ■ 平成29年12月18日 評価結果を事業主管課へフィードバックの上、対応の検討と結果報告について指 						<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成30年12月28日 事業主管課による対応結果及び予算要求状況報告 ■ 平成30年1月26日 新年度予算に関する理事者査定 			<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成30年2月22日 新年度予算案の公表 ■ 平成30年3月23日 新年度予算案の議会議決 ■ 平成30年3月26日 第2回根室市外部評価委員会開催（結果報告） 		